（書式 3）

全教科についての指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	社　会	教科主任　　安西　純子

1.　指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

＜第 1 学年＞

指 導 方 法 の 課 題 の 分 析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
・意欲をもって授業に臨んでいる。意欲を持続させ、知識の定着を心がける。さらに関心を高め、課題を見いだせる力を引き出していく。 ・自ら考え、多面的・多角的に表現する力が必要である。 ・自ら判断する力を付けるための指導が必要である。	・単元ごとにねらいを定め、学習目標を明確にする。ＩＣＴを取り入れ、興味・関心を高める。 ・学び合いの時間をもち、生徒同士の理解を深める活動を取り入れる。 ・授業ごとに資料集、白地図などを利用して知識の定着の度合いを測る。	・資料集、白地図などを利用し、授業内容の補充を図る。 ・資料を利用し発展的な内容にも触れる。 ・時事問題にも積極的に触れ、授業内容の補充及び発展として利用する機会を設ける。

＜第 2 学年＞

指 導 方 法 の 課 題 の 分 析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
・生徒に意欲をもたせ、それを持続させられるような分かりやすい授業を行う必要がある。 ・知識を定着させるための工夫が必要である。 ・社会的な思考力を身に付ける必要がある。	・単元ごとにねらいを定めて提示し、学習意欲の向上を図る。 ・授業の開始時に必ず前時の復習を取り入れ、知識の定着をはかる。 ・資料やグラフを提示し、自ら考えさせたり、グループで話し合わせたりする機会を増やす。	・ワークシート、ワークを利用し、授業内容の補充を図る。 ・資料を利用し発展的な内容にも触れる。時事問題にも積極的に触れ、授業内容の補充及び発展として利用する。 ・定期的に小テストを行う。

＜第 3 学年＞

指 導 方 法 の 課 題 の 分 析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
・意欲をもって授業に臨んでいて知識の定着が向上していることがうかがえる。さらに関心を深め、課題を見いだせる力を引き出していく。 ・自ら考え、多面的・多角的に考えたことを表現する力が必要である。 ・自ら判断する力を付けるための指導が必要である。	・単元ごとにねらいを定め、学習目標を明確にする。ＩＣＴを取り入れ、興味関心を高める。 ・学び合いの時間をもち、生徒同士の理解を深める活動を取り入れる。 ・社会的事象を様々な資料から読み取り自ら考え思考・判断力を養う。 ・自分の思考を表現する訓練を行う。	・基礎的な知識や学習内容の整理のために、ワークや資料を活用する。 ・新聞記事や時事問題も提示しながら、自発的に探究していくことができるように配慮する。 ・定期的に小テストを行う。